

平成20年度

決算報告書

第5期事業年度

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日



国立大学法人 筑波大学

平成20事業年度 決算報告書

国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	46,852	48,106	1,254	(注1)
施設整備費補助金	5,839	6,102	263	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	594	767	173	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	168	168	0	
自己収入	27,705	28,638	933	
授業料、入学料及び検定料収入	9,688	9,850	162	(注4)
附属病院収入	17,192	17,628	436	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	825	1,160	335	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,693	6,218	1,525	(注7)
引当金取崩	289	289	0	
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	1,069	1,361	292	(注8)
計	87,209	91,649	4,440	
支 出				
業務費	56,074	55,045	1,029	(注9)
教育研究経費	38,760	36,941	1,819	
診療経費	17,314	18,104	790	
一般管理費	11,033	10,209	824	(注10)
施設整備費	6,007	6,270	263	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	594	767	173	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,693	5,330	637	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	8,808	8,808	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	87,209	86,429	780	
収入 - 支出	0	5,220	5,220	

- (注1) 運営費交付金については、平成19年度末の退職給付額が見込額を下回ったため、平成19年度から平成20年度への繰越額が多額となり、予算額に比して決算額が 1,254百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、執行計画に変更が生じたため、予算額に比して決算額が 263百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、受入金額が増加したため予算額に比して決算額が 173百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数が見込者数を上回ったため、決算額としては 162百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、在院日数の短縮化、外来化学療法件数の増加などの経営改善により、予算額に比して決算額が 436百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主に特許権収入、財産等貸付料収入、不用物品売払収入及び試験実施料収入などの増により予算額に比して決算額が 335百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国の各組織、独立行政法人及び民間からの受託研究の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が 1,525百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった附属病院医療機械整備等のため取崩しを行ったため、予算額に比して決算額が 292百万円多額となっています。
- (注9) 業務費のうち教育研究経費については、予算段階では予定していなかった任用計画の見直しによる人件費の減少などにより 1,819百万円少額となっています。また、診療経費については、附属病院収入増に伴う医薬品及び診療材料等の増により 790百万円多額となっています。
- (注10) 一般管理費については、経費節減等の努力により、824百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が 263百万円多額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が 173百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が 637百万円多額となっています。